

第10回久喜市生涯学習研修大会



「まなびすとフォーラム」報告書

開催日：令和元年6月8日（土）

会場：埼玉県立鷺宮高等学校

大会テーマ：「自分づくりと学び」とは



生涯学習研修大会概要

1. 開会式・来賓挨拶
2. 主催者挨拶
3. フォーラム内容
4. アンケート結果のまとめ
5. 開催概要と今後への課題
6. 添付資料：グループ討議結果

主催：久喜市生涯学習推進会議・久喜市生涯学習推進部

後援：久喜市教育委員会

製作・発行：久喜市生涯学習推進部

1. 開会式・来賓挨拶



久喜市長：梅田修一様挨拶



久喜市教育委員会教育長：
柿沼光夫様挨拶



埼玉県立鷺宮高等学校校長：
森田剛夫様挨拶

2. 主催者挨拶

久喜市生涯学習推進会議議長：平 忠昭

挨拶 要約：討議への期待

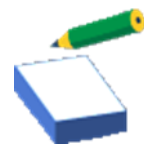
年号が平成から令和に代わり、また、合併10周年と言う節目の年の第10回久喜市生涯学習研修大会「まなびすとフォーラム」を迎えることが出来ました。



- 1) 今回のテーマは「自分づくりと学び」というテーマで、市民一人ひとりが、生涯を通じて学び、自己を形成して行く人生の中で、人と人との関わりについて考える大切さを討議する内容です。
- 2) このフォーラムは、久喜市のまちづくりフォーラムで、テーマがその目的に沿うものなのか。と言うご意見もありますが、家庭・地域(自治会・町会)・団体等の地域社会で、市民の皆さんは、日頃話し合いながら地域社会を良くし、久喜市を少しでもよくしようと、無意識のうちに活動しています。それを今回集まって、話し合い確認すると言う、ところに意義があり、目的の一端が達成されるものと思います。
- 3) ワークショップでは、参加者全員が意見を述べ、聞く事で、参加者同士の熱心な議論が展開され、相互理解が出来、中身の濃いワークショップになることを期待しております。約90分の討議は時間的に十分とは言えませんが、高校生の皆さんの積極的な参加で、このような若者の皆さんが、これからの地域起こしを自分の学びとして捉え、行動してくれることに期待したいと思います。

3. フォーラム内容

1) 討議風景



2) 討議結果発表風景



3) グループでの討議結果の要約（キーワード一覧）

各グループの発表内容と発表資料を参考にキーワードを抽出一覧表にまとめました。しかし、皆様のグループ討議内容を十分把握できない部分もありますが記載内容から抽出する努力を致しました。十分な抽出が出来なかった部分についてはお詫びいたします。皆様の討議内容の詳細は添付のグループ発表資料を参照願います。

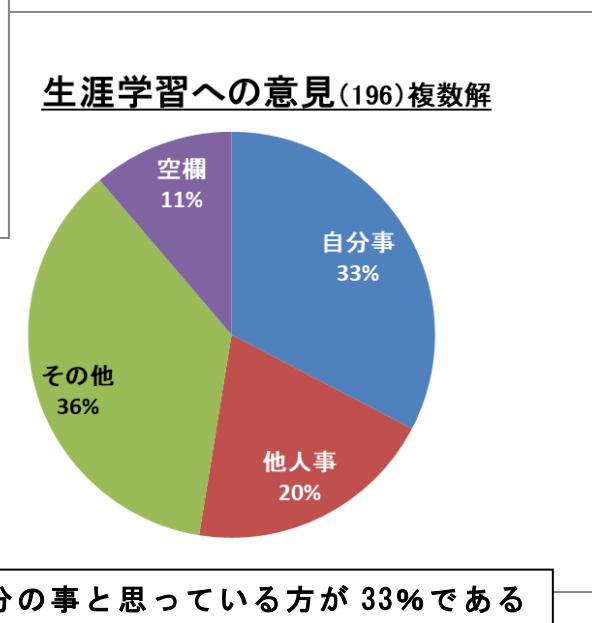
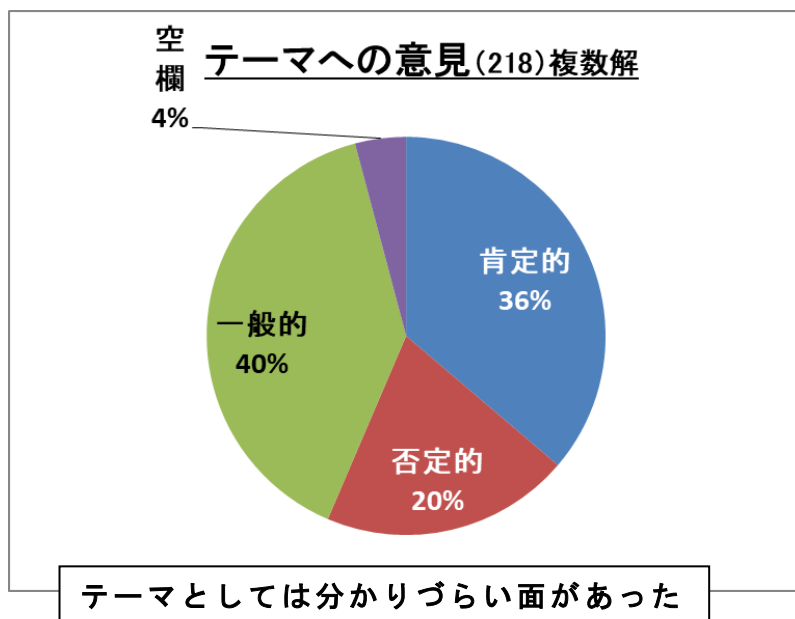
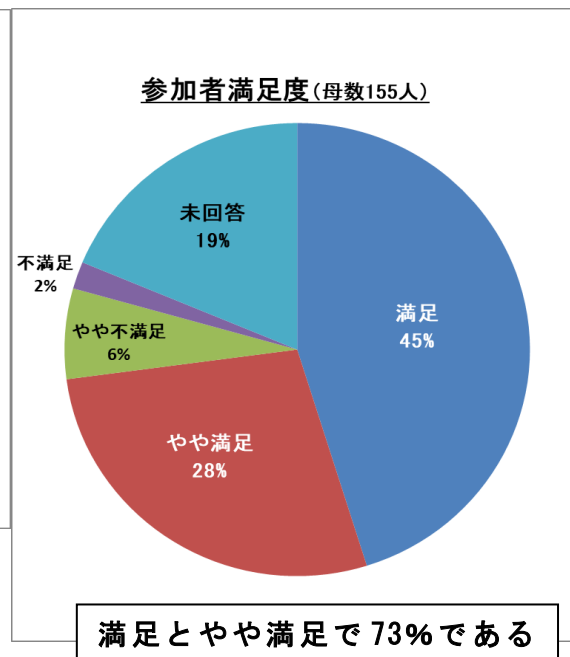
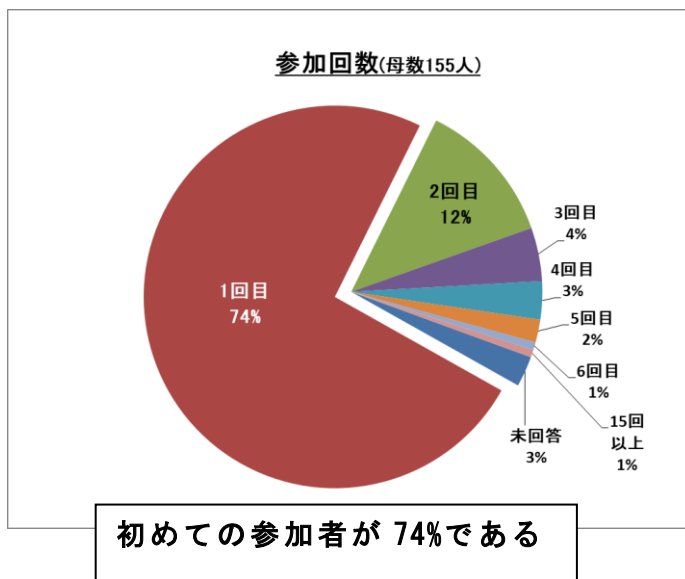
第10回まなびすとフォーラム討議結果のグループ別キーワード一覧表

G名	1	2	3	4	5
01	きっかけ(小さなこと、定年)	学び(地域活動)	成長(人と会う)	課題(学び、人との関わり)	
02	自分の成長(方法:ふれあい)	人とのつながり(場所:コミュニティ)	結論(生きる力を育む)		
03	自分づくり:自分を磨く、趣味	学びとは:新たな発見	結論(自分づくりと学びとはの間の項目(人との関わり))		
04	こころ(健康)	興味(参加)	挑む(ボランティア、地域活動)	結論(地域貢献)	
05	自立(大人の役割 + 同世代の学び合い)	ボランティア人助け = 自己肯定感が高まる	結論(自分づくりは人とのつながりの中で!!)		
06	場所(環境、ボランティア、健康、趣味)	物(本、テキスト、学校の設備)	結論(こと:コミュニケーション、環境、自己研鑽、健康、趣味)		
07	目指すところ(誰かのために生きる、安全安心の社会)	どうしたらいいのか(コミュニケーション、情報発信、自己努力)	自分づくりとは(勉強、趣味活動、居場所、自立)		
08	健康・スポーツ	学びたいこと(趣味、読書、ボランティア、)	結論(人間関係:学校、友人、地域とのふれあい)		
09	キャリアアップ <=> 語学、仕事の資格、学びたい意欲	スポーツ <=> 趣味(地域スポーツクラブへの参画、観劇など)	家事との兼ね合い 小学校(PTA活動、ゆうゆうの支援)	結論(地域行事への参加、家庭、学校・子供との兼ね合い)	
10	教育・育児	社会教育(スポーツ、各世代の学び)	生涯学習(60歳からの学び直し)	結論(地域学習:地域活動に参加)	年金問題
11	人生を楽しむ(生き甲斐創り)	地域を知る(文化、歴史)	学びの場(施設・設備の充実、歴史強会への参加など)	地域への参画(地域住民との交流)	結論(人は一人では生きられない 初めの一步を踏み出す勇氣)
12	仕事・学校・生活(各世代での学び)	趣味(旅行、読書、自分の時間を持つ) 楽しみ(隣近所との付き合い) 健康(若くいること、ボケない事)		家族との関わり(子供中心の生活)	結論(家族以外の人との関わり(地域活動への参画))
13	自分作りは成長を視野に	成長(自分、子供、家族の幸せ)	学びと自分づくり<=>自分づくりと学び	結論(出会いコミュニティ学びは地域の出会い、人脈創り)	
14	個人の考え(子育て、他者との関係)	人との関わり:地域	まとめ(自分づくりは懂れ、自分の意見を持ち、他者との繋がり大切)		
15	きっかけ(小さなことから、人のために役立ちたい)	何をしている?(PTA、地域活動に参加する)	何に注意する?(周りの人達との協力、仲間から学ぶ)	結論(地域・ひとから学ぶ自分づくり。そして、そのお返しを!)	
16	スタート(なりたい自分を描く)>目的	学びをはじめるために	交通機関(公共交通)、立地(自分の力で行ける)	結論(先ず参加 するために)	
17	学校(生徒の考え地域を変える、達成感を味わってほしい)	地域(社会貢献、ボランティア)	家庭(地域行事への参加)	結論(「感謝」の気持ちを「力」に変える)	

注) 色分け分類:

人との繋がり	学びの機会	きっかけ創り	地域を知る
--------	-------	--------	-------

4. アンケート結果の纏め



5. 開催の概要と今後への課題

研修大会の結果と今後に向けて

生涯学習推進部委員長 宮内 智



第10回「まなびすとフォーラム」にご参加いただきましてありがとうございました。開催に向けての反省事項、皆様のテーマに対するご意見、アンケートの内容等を項目別に記入しましたのでご確認をお願いします。

1. 会場について

今回は県立鷲宮高校の学生食堂をお借りして開催しました。当日は173名の参加を頂きましたが1室での開催に徹したために大変狭さを感じさせてしまいました。10名のグループ分けも意見の発表時間が制約され十分な話し合いが出来なかった様に思います。今後の開催は7～8名程度の人員にして多くの討議や意見が可能な体制にしたいと考えています。

2. テーマについて

今回は「自分づくりと学び」とは、で実施しましたが、テーマの趣旨が理解できず何を話したら良いのか手間取ってしまったとのご意見がありました。開催時に内容について説明の時間がありましたが言葉で聞いただけでは理解が難しかった様に感じました。市民一人ひとりが、生涯を通して学び、自己を形成していく人生の中で、人と人との関わりにつて考える大切さを討議して頂きたかった事を皆さんで意見交換をお願いしたいと思っていました。これからはもう少し具体的なテーマ設定を実施して参加者のお話を聞く様にしたいと考えます。

3. グループのまとめ、キーワードについて

今回のテーマから、人づくりは人とのつながりが大切という事が多くのグループにて討議されていきました。つながりには地域住民との交流そしてイベントへの参加により、情報を仕入れ自分の自己研鑽に役立つ事が大切であると結論付けています。地域住民との交流ですが、それは地域を知る事が先決です。地域の学校と子供達とのふれあい、そして地域の文化を知り継承して行くことは自分の勉強に繋がっていきます。また、学びとは、生涯にわたりあらゆる学習が求められています。いつでも、どこでも好きな時に自分づくりの勉強を進めていければと思います。きっかけ創りは、定年を迎えて健康や趣味を生かす為のスポーツへの参画など、興味を持った所でスタートを実行して行こうとしています。

4. アンケートについて

開催については73パーセントの方から満足・やや満足を頂きましたが、不満・やや不満のご意見も8パーセントありました。多くの世代の方々とお話が出来て良かった、今後も参加したいとの感想を頂いています。地域とのかかわりには環境整備の必要性が要求され、公民館やコミュニティセンターの活用が叫ばれています。皆様から頂いたご意見・要望はこれからの推進部の活動に活用させていただきます。

添付資料：グループ討議結果



1) グループ発表資料

	目次	ページ
第 1	グループ	08
第 2	グループ	08
第 3	グループ	09
第 4	グループ	09
第 5	グループ	10
第 6	グループ	10
第 7	グループ	11
第 8	グループ	12
第 9	グループ	12
第 10	グループ	13
第 11	グループ	13
第 12	グループ	14
第 13	グループ	14
第 14	グループ	15
第 15	グループ	15
第 16	グループ	16
第 17	グループ	16



討議は、10～70歳の幅広い年代の10人のグループ構成で行いました。異なる考え、意見を世代間で共有できたでしょうか？



2) アンケート統計資料 17

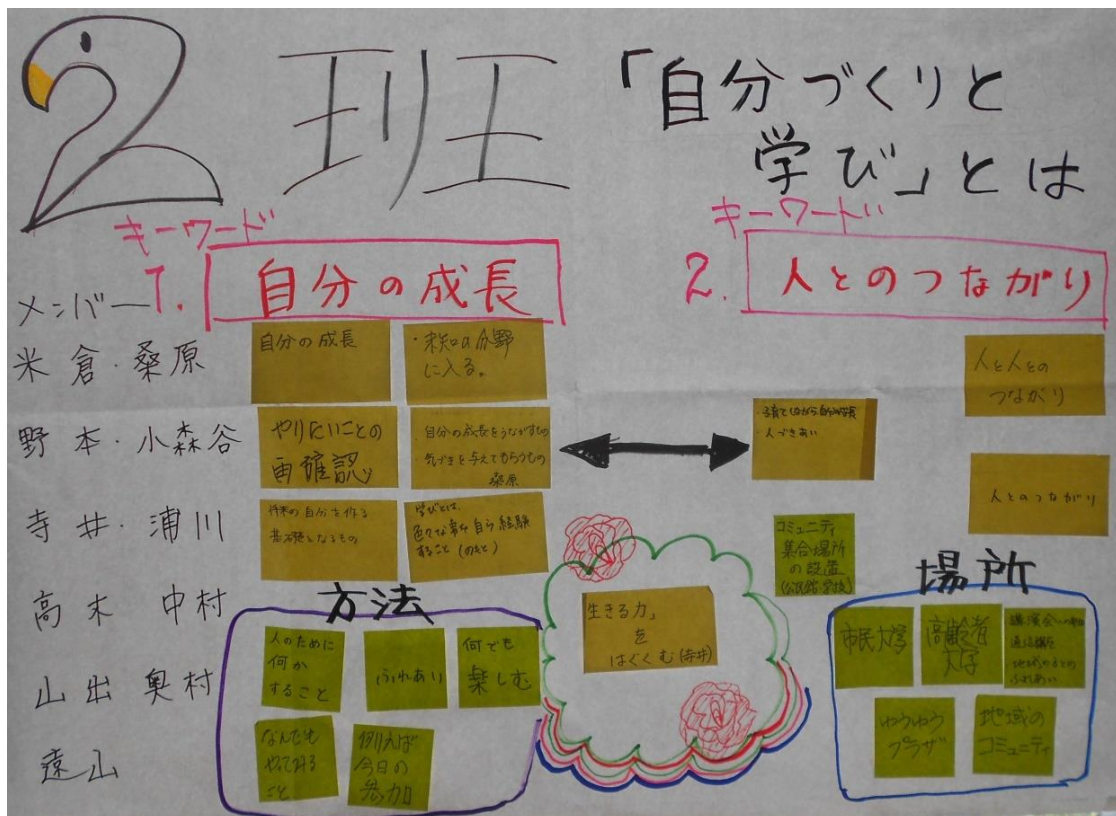
第1グループ発表資料：

(学び、人との関わり)



第2グループ発表資料：

(生きる力を育む)



第3グループ発表資料：

(自分づくりと学びとはの間の項目 (人との関わり))



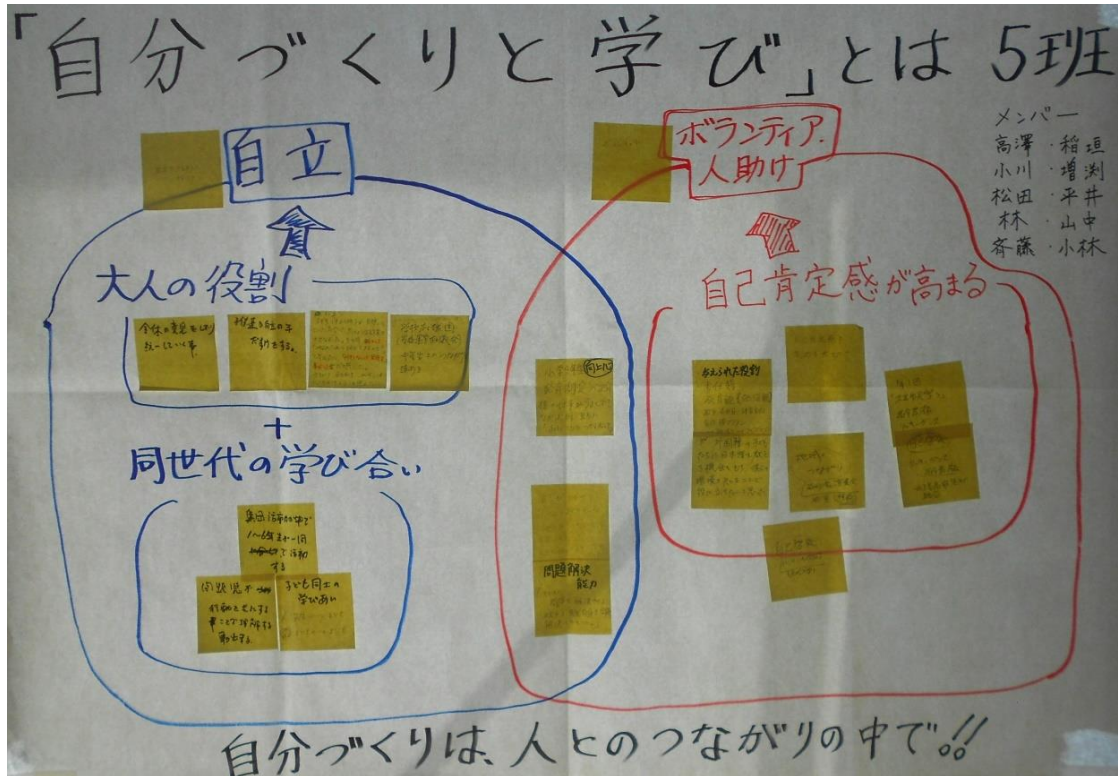
第4グループ発表資料：

(地域貢献)



第5グループ発表資料：

(自分づくりは人とのつながりの中で！！)



第6グループ発表資料：

(こと：コミュニケーション、環境、自己研鑽、健康、趣味)



第7グループ発表資料：

自分づくりとは（勉強、趣味活動、居場所、自立）



第8グループ発表資料：

(人間関係：学校、友人、地域とのふれあい))



第9グループ発表資料：

(地域行事への参加、家庭、学校・子供との兼ね合い)



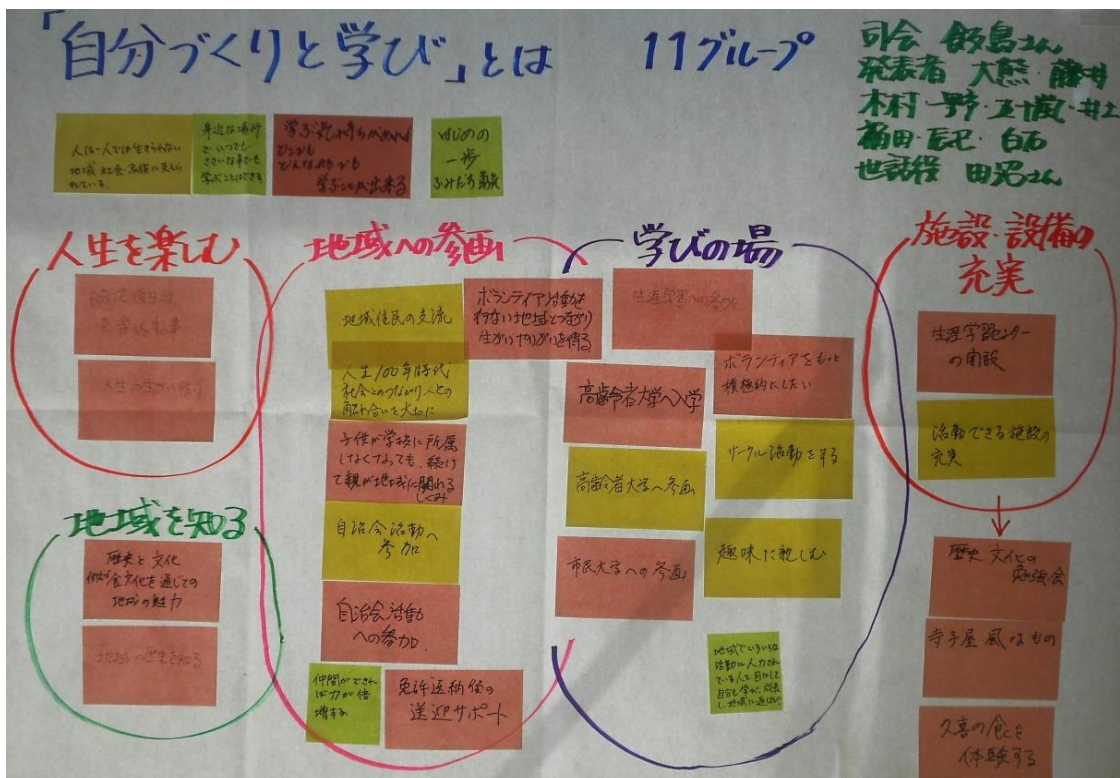
第10グループ発表資料：

(地域学習：地域活動に参加)



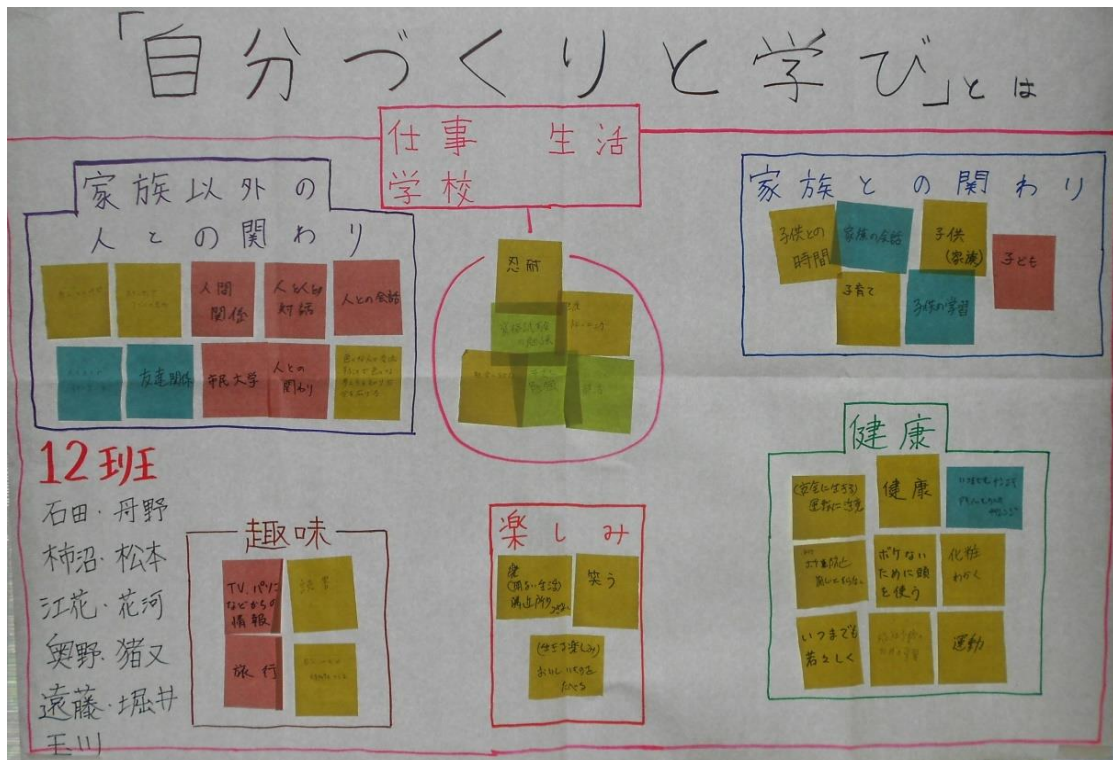
第11グループ発表資料：

(人は一人では生きられない 初めの一步を踏み出す勇氣)



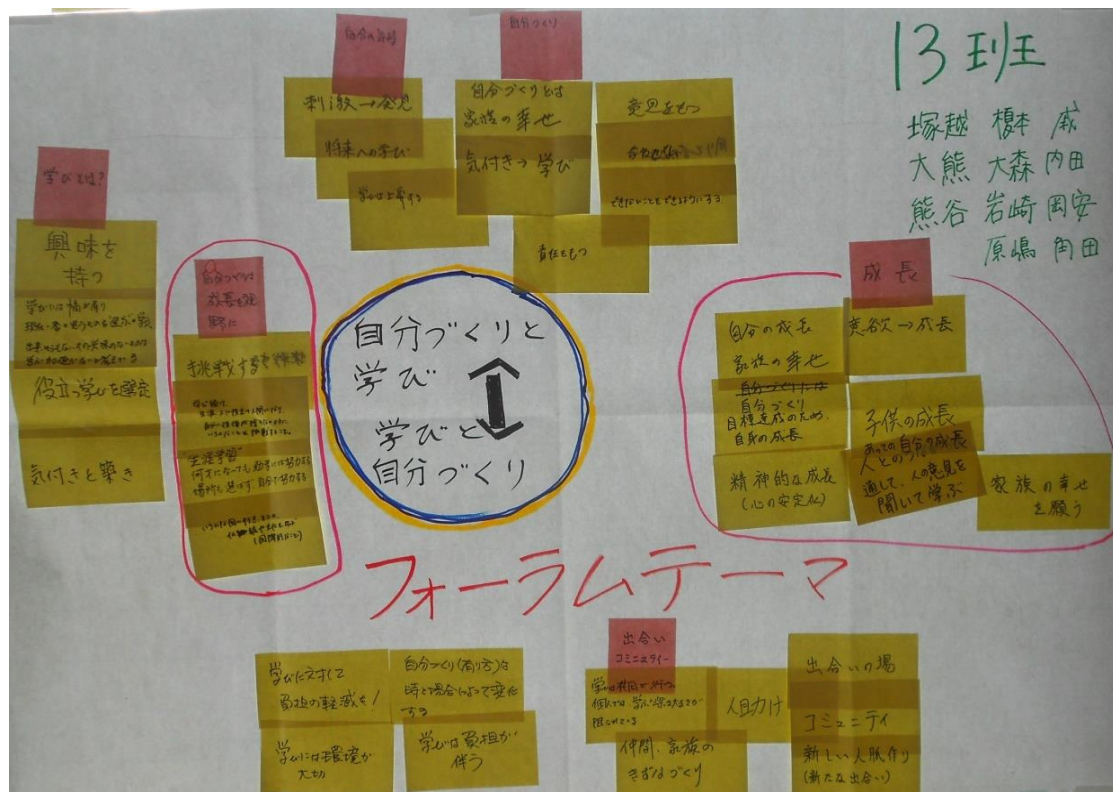
第 1 2 グループ発表資料：

(家族以外の人との関わり (地域活動への参画))



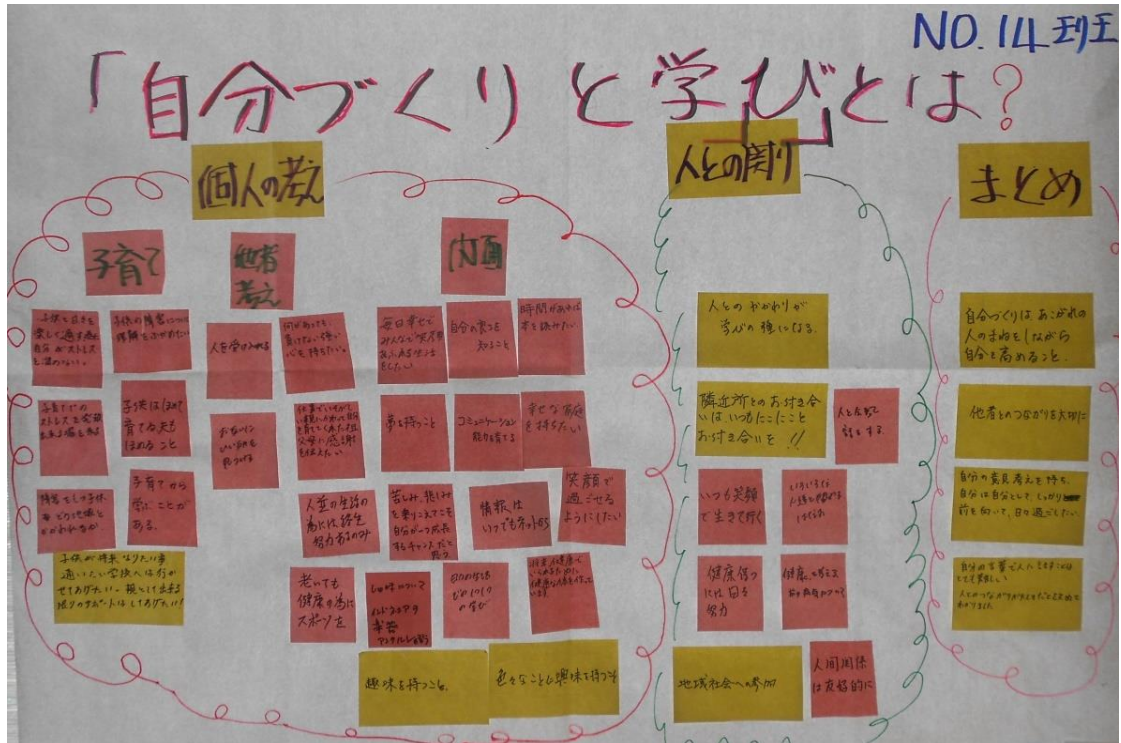
第 1 3 グループ発表資料：

(出会いコミュニティ学びは地域の出会い、人脈創り)



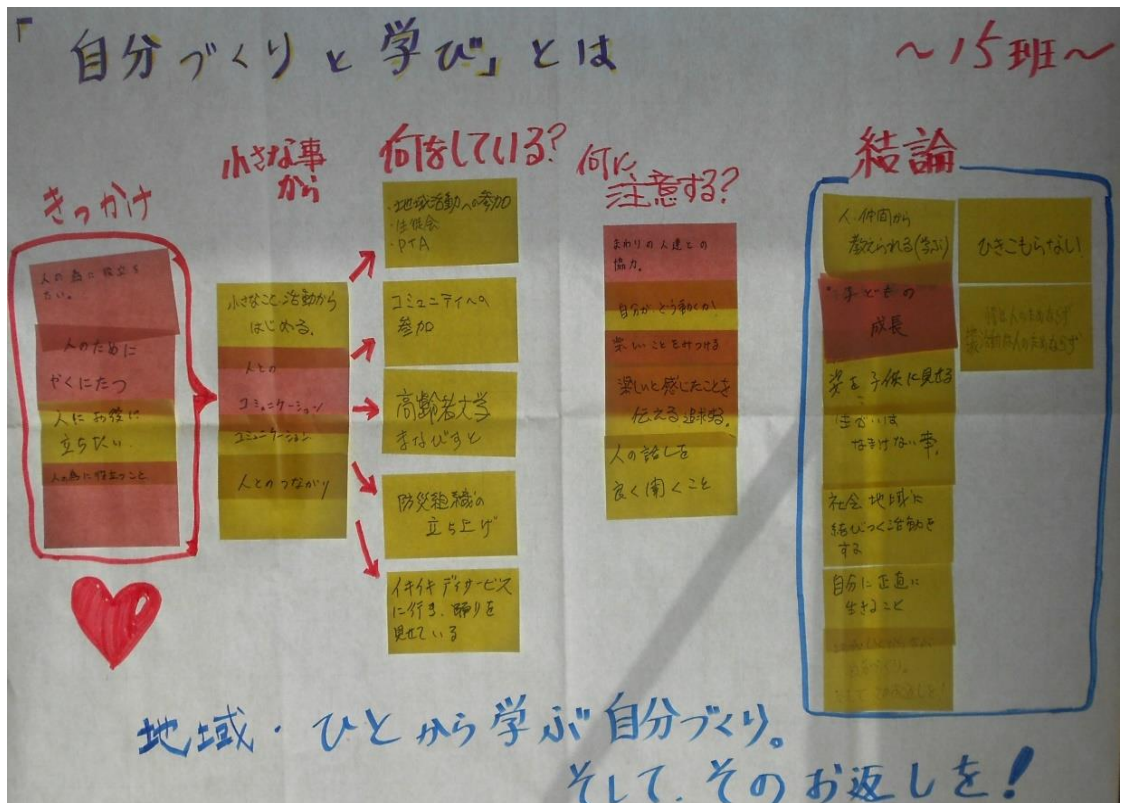
第 1 4 グループ発表資料 :

(自分づくりは憧れ、自分の意見を持ち、他者との繋がり大切)



第 1 5 グループ発表資料 :

(地域・ひとから学ぶ自分づくり。そして、そのお返しを！)



地域・ひとから学ぶ自分づくり。そして、そのお返しを!

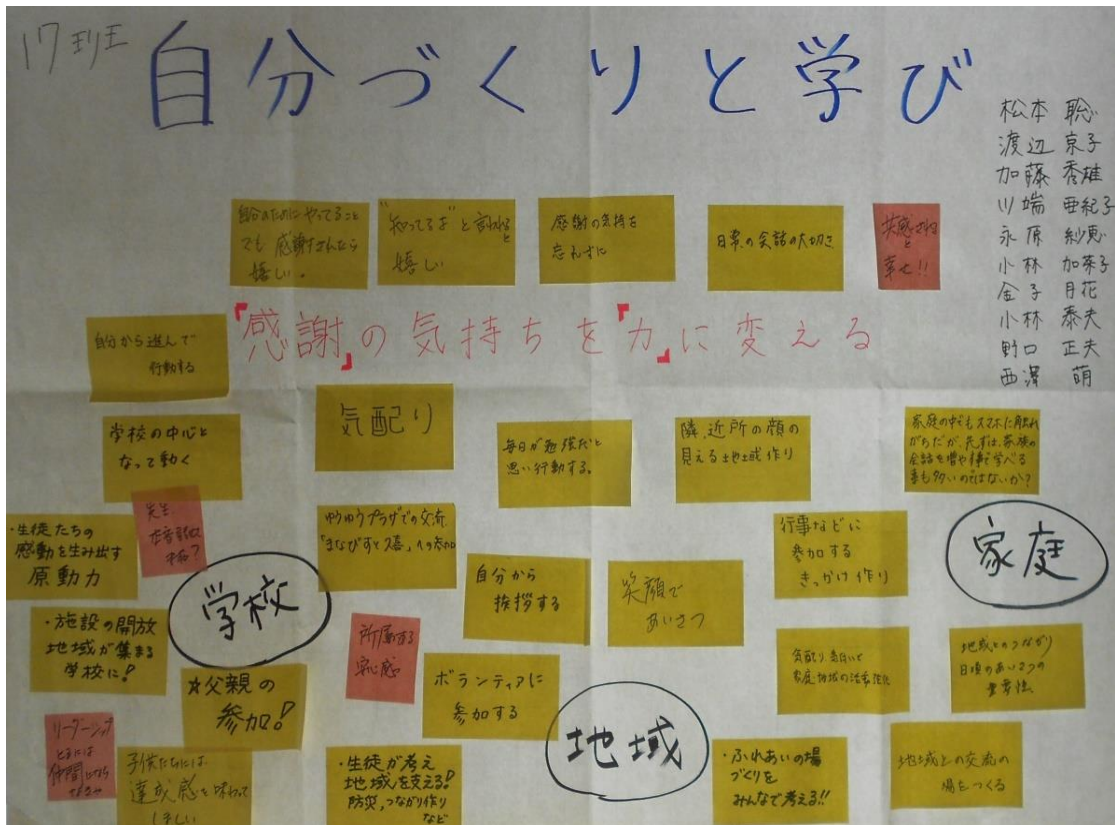
第 16 グループ発表資料 :

(先ず参加 そのために)

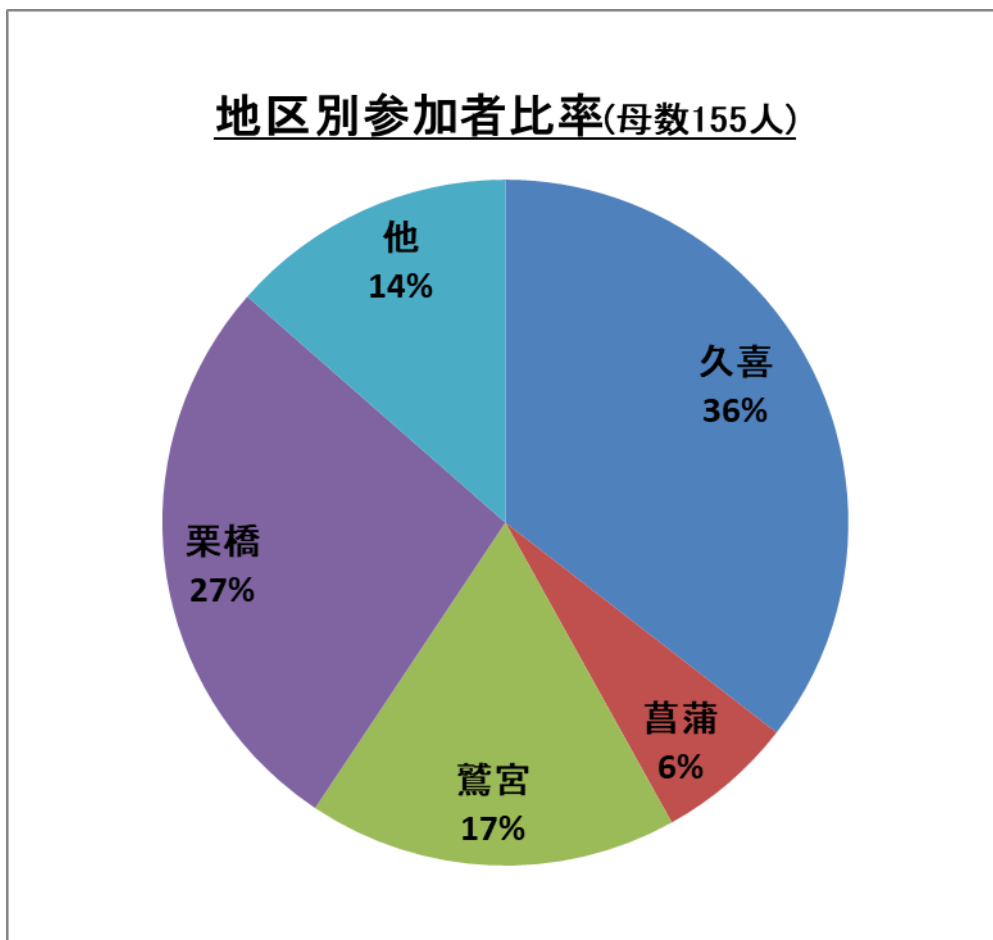
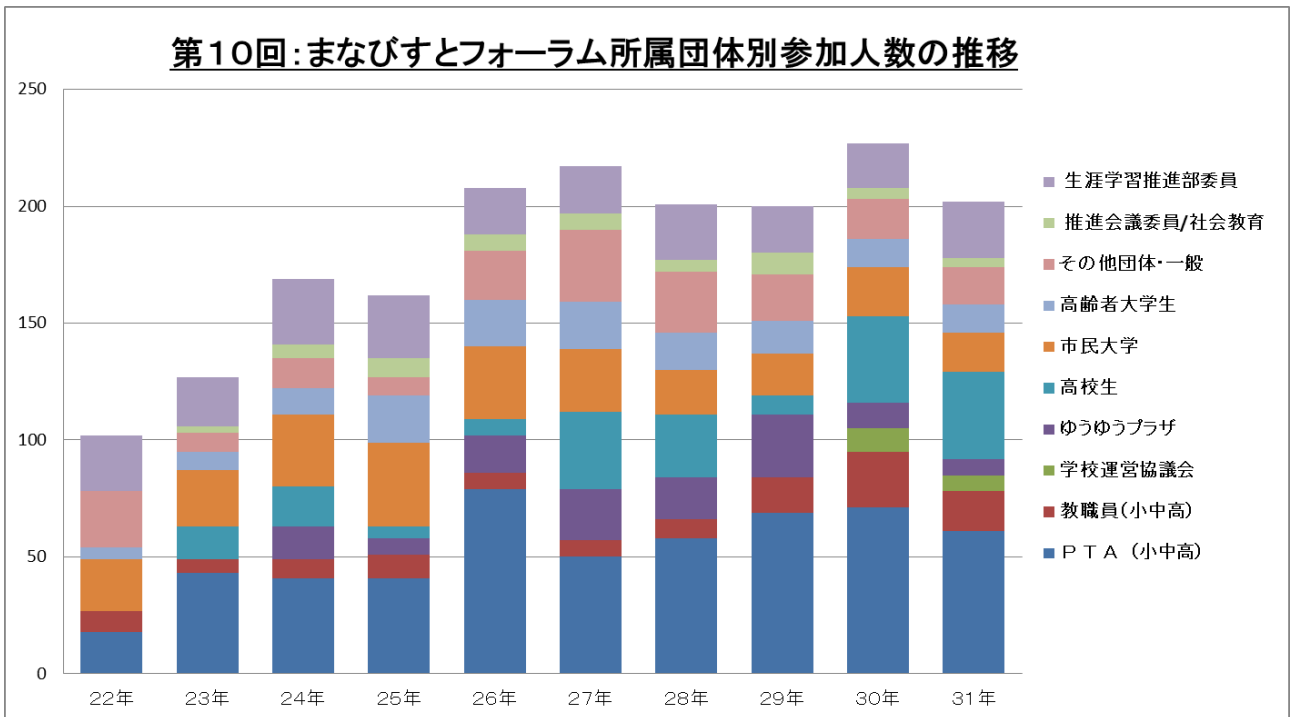


第 17 グループ発表資料 :

(「感謝」の気持ちを「力」に変える)



2) フォーラム統計





編集後記

第10回「まなびすとフォーラム」にご参加いただき、また、ワークショップにおいて、貴重なご意見を頂きありがとうございます。

今回の「まなびすとフォーラム」では、多くのことを変えることになりました。私の考える、「まなびすとフォーラム」は、本来の目的とは何か、あるべき姿は何か？という疑問からのスタートでした。報告書は、皆様に討議の結果をそのまま、お届けし、考える材料をご提供することだと考えました。

それが、良いという人、悪いという人、様々である。少しでもあるべき姿に戻し、何が出来るか、何を新しくするか、世の中の変化と共に、久喜市の生涯学習のためになればという基本理念のもとにこの半年を黙々と謎解きの連続を楽しんだと言えば嘘になります。楽しく努力してきました。

生涯学習推進部委員の方々のご協力により新しいスタイルの報告書が完成いたしました。今後は、これらを手伝って頂き、久喜市の生涯学習を一所懸命支えてこられた方々の積み重ねを如何に次世代に引き継ぐかその為には、蓄積してきた資料、ノウハウを如何に活かすかは、長年、各担当委員は自宅を作業場所として進めてきました。

最後になりますが、当日ご参加下さいましたみなさまに改めてお礼申し上げます。

第10回まなびすとフォーラム実行委員長（明石實正）